

表示画面のクイックスナップショット

表示ウィンドウにある [クイックスナップショット (Quick Snapshot)] アイコンボタン 🍪 を使って、画面の表示内容を さまざまなフォーマットから選んで 24bit コンポジット画像 に自動保存できます。スナップショットは、現在表示中の全 てのレイヤを合成した画像として、画面の解像度でキャプ チャされます。ジオリファレンスの情報は、RVC ラスタフォー マットについてはスナップショットと一緒に自動保存されま

Quick Snapshot Settings		9
Format Cootter 17W (localess)		Y
Quick-Save Folder C:\Users\crobbins\Docume	nts\Snapshots	2
Quick-Save Prefix Townsend	Next Index 1	IJ
🕱 Save Google Earth KML (if Geographic CRS) a	and "World + PRJ" files	1
🕅 Make subfolder for each snapshot when quick save		5
Open result with default application		Ρ
Show result using KML viewer (usually in Google Earth)		仴
	OK Cancel	カ

す。外部フォー マットに保存す る場合は、ジオ リファレンスと して Arc World、 PRJ、KML への 保存を選ぶこと が出来ます。

クイックスナップショットの設定

初めて [クイックスナップショット] アイコンボタン をクリックした時、〈クイックスナップショットの設定 (Quick Snapshot Settings)>ウィンドウが開きます(左上の図を参照)。 [フォーマット (Format)] メニューから画像のフォーマットを選 び、[簡易保存フォルダ (Ouick-Save Folder)] ボタンを押してス ナップショットの保存先フォルダを選択します。[簡易保存名 (Quick-Save Prefix)] フィールドにはテキストを入力します。こ の簡易保存名の文字と、[次の番号 (Next Index)] フィールドの 値で始まり1ずつ自動増加する数字を使って、画像ファイルに 名前が付けられます。2回目以降のクイックスナップショット は、[クイックスナップショット]アイコンボタンを押したとき、 スナップショットの設定に基づき自動で保存されます(2回目 以降プロンプトは出ません)。 〈クイックスナップショットの設 定〉ウィンドウはいつでも開いて変更することができます。表 示ウィンドウの [オプション (Option)]>[スナップショットの設 定 (Snapshot Settings)] を選ぶか、表示マネージャで [オプショ ン]>[表示ウィンドウオプション (View Option)] を選択します。 また、表示ウィンドウで [表示ウィンドウ (View)]>[スナップ ショットを別名保存 (Save Snapshot As)] を選択して、スナップ ショットの名前と保存先を指定することが出来ます。

スナップショットのフォーマット

利用できる画像フォーマットの一覧を下に示します。スナッ プショットは RVC ラスタオブジェクトとしてさまざまな圧縮方 法(または圧縮なし)で保存できます。また、さまざまな圧縮オ プションを持つ RVC 以外の外部フォーマットの中からも選ぶこ

スナップショットのフォーマット		
RVC - 非圧縮	JP2 - ユーザ定義	
RVC - DPCM (欠損なし)	GeoTIFF - 非圧縮	
RVC - ハフマン符号 (欠損なし)	GeoTIFF - LZW (欠損なし)	
RVC - JPEG2000 (欠損なし)	GeoTIFF - PackBits (欠損なし)	
RVC - JPEG2000 最高画質	TIFF - 非圧縮	
RVC - JPEG2000 ユーザ定義	TIFF - LZW (欠損なし)	
RVC - JPEG 最高画質	TIFF - PackBits (欠損なし)	
RVC - JPEG ユーザ定義	JPEG - 最高品質	
GeoJP2 - 欠損なし	JPEG - ユーザ定義	
GeoJP2 - 最高画質	PNG	
GeoJP2 - ユーザ定義	KMZ - JPEG – 最高品質	
JP2 - 欠損なし	KMZ – JPEG - ユーザ定義	
JP2 - 最高品質	KMZ - PNG	



とができます。RVC、GeoJP2、GeoTIFF への出力を選んだ場合、 ジオリファレンス情報がファイルの一部として保存されます。そ の他のフォーマットの場合、[(地理座標系であれば) グーグルアー ス用 KML ファイルと "World+PRJ" ファイルを保存 (Save Google Earth KML (if Geographic CRS) and "World + PRJ" files)] トグル をオンにすることで、ジオリファレンス情報を関連するファイル で保存できます。スナップショットの座標参照系 (CRS) は、グルー プの座標参照系によって決まります。レイアウトの場合、スナッ プショットの座標参照系は、ローカルでない座標参照系を持つ 一番下のグループによって決まります。[簡易保存の時、スナッ プショットごとにサブフォルダを作成 (Make subfolder for each snapshot when quick save)] 設定は、独立したジオリファレンス ファイルを持つスナップショットを作成する時に便利です。その スナップショットに対する全てのファイルが独立したサブフォ ルダ(画像ファイルと同じ名前)の中に保存されるからです。こ れらのフォーマットのスナップショットは、保存されたジオリ ファレンス情報を使って、他の地理データレイヤと組み合わせ て TNT 製品で表示することができます。外部フォーマットのス ナップショットは、レポートの作成やウェブ画像として、または その他の目的で、さまざまなソフトウェア製品で利用できます。 外部フォーマットのスナップショットの場合、〈クイックスナッ プショットの設定〉で、[既定のソフトウェアで結果を開く (Open result with default application)] トグルをオンにすることで、ユー ザのシステムの中でそのフォーマットに関連づけられたソフト ウェアアプリケーションでスナップショットを自動的に開くこ とが出来ます。

Google Earth のスナップショット

GeoTIFF、TIFF、JPEG、PNG フォーマットのいずれかを選び、 ジオリファレンスファイルの保存を選ぶことで Google Earth で表 示可能なスナップショットを作ることが出来ます。Google Earth にスナップショットを自動で表示させるには、〈クイックスナッ プショットの設定〉の中の [KML ビューワ (通常 Google Earth) を使って結果を表示する (Show result using KML viewer (usually in Google Earth)]] オプションをオンにします。詳しくはテクニカ ルガイドの空間データ表示:「Google Earth 用のクイックスナッ プショット (Quick Snapshot for Google Earth)」をご覧ください。